

## 保守メンテの重要性

稼働年数が長く、故障が頻発し始めたので、長期にわたり部品交換していくことを提案	
1. 既存設備の概要 とお客様の要望	<p><b>【既存設備の概要】</b></p> <p>2階建(1階 クリーンルーム・一般実験室、2階 事務所) ビル用マルチ×3系統、シングル機×8系統、チラーユニット、送風機他 保守物件にて 2回/年 定期点検実施</p> <p><b>【お客様の要望】</b></p> <p>1階クリーンルームの排ガス処理装置のポンプで異音発生。稼働して約8年経過している所以他の箇所の故障が発生し出すのではないかと不安である。</p>
2. 提案した解決策	<p><b>【提案した解決策】</b></p> <p>故障履歴から「故障頻度」を3段階に分け、予算の関係で設備ごとに優先順位をつけて長期にわたり部品交換していくことを提案</p> <p>2010年－上期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ビル用マルチエアコン整備(圧縮機他取替)</li> <li>②エアーハンドリングユニット(送風装置整備)</li> <li>③冷温水ポンプ整備(軸受け他取替)</li> <li>④排気処理装置整備(軸受け他取替)</li> </ul> <p>2010年－下期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤チラーユニット整備(圧縮機分解整備)</li> </ul>
3. 得られた成果と お客様の評価	<p><b>【成果】</b></p> <p>段階ごとに分けてではあるが、整備の受注ができた。</p> <p><b>【お客様の評価】</b></p> <p>年度別の予算取りに有効に活用できると評価。</p>
4. 今後の課題と 展開	<p><b>【今後の展開】</b></p> <p>室内ユニットのHEPAフィルター取替(塵埃を測定して判断)、ダンパー調節器の整備なども、故障に繋がらないので緊急度は低いですが予防保全として提案する。</p>